

2015年12月8日 全8頁

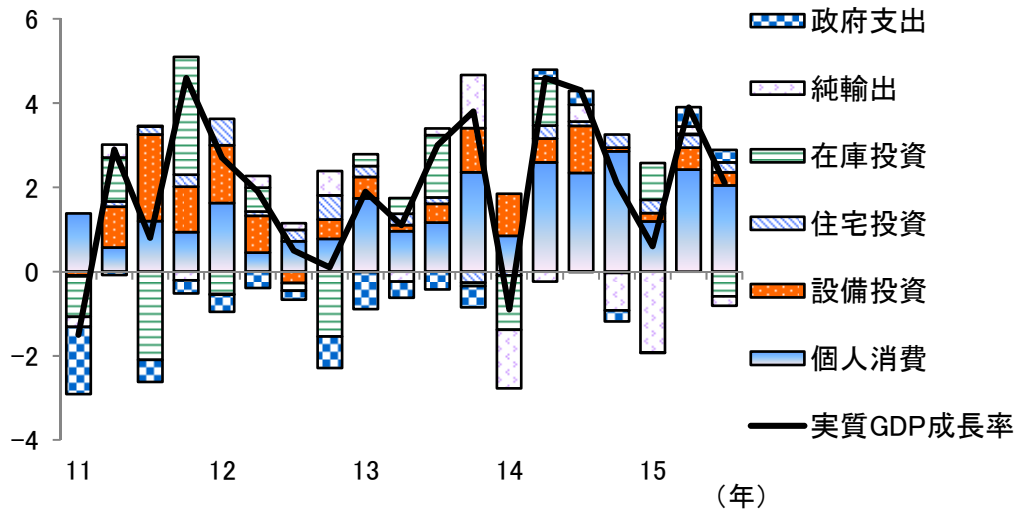
アメリカ経済グラフポケット (2015年12月号)

2015年12月7日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター
エコノミスト 橋本 政彦

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



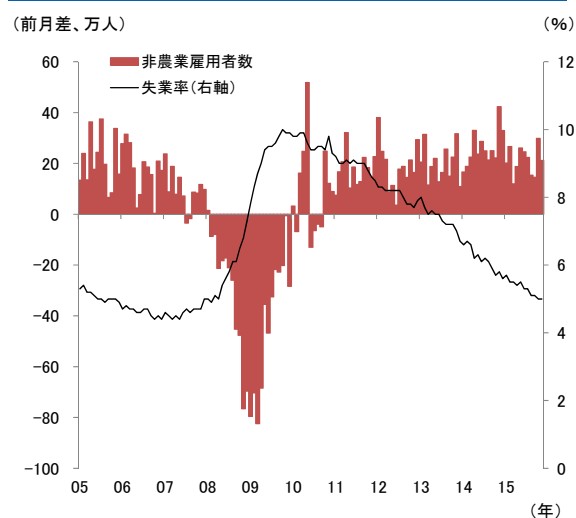
| (前期比年率、%、%pt) | 2013 | 2014 | | | | 2015 | | |
|---------------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|
| | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 |
| 国内総生産 | 3.8 | -0.9 | 4.6 | 4.3 | 2.1 | 0.6 | 3.9 | 2.1 |
| 個人消費 | 3.5 | 1.3 | 3.8 | 3.5 | 4.3 | 1.8 | 3.6 | 3.0 |
| 設備投資 | 8.7 | 8.3 | 4.4 | 9.0 | 0.7 | 1.6 | 4.1 | 2.4 |
| 住宅投資 | -8.1 | -2.8 | 10.4 | 3.4 | 10.0 | 10.1 | 9.3 | 7.3 |
| 政府支出 | -2.7 | 0.0 | 1.2 | 1.8 | -1.4 | -0.1 | 2.6 | 1.7 |
| 輸出 | 10.9 | -6.7 | 9.8 | 1.8 | 5.4 | -6.0 | 5.1 | 0.9 |
| 輸入 | 1.0 | 2.8 | 9.6 | -0.8 | 10.3 | 7.1 | 3.0 | 2.1 |
| 寄与度 | | | | | | | | |
| 個人消費 | 2.4 | 0.9 | 2.6 | 2.3 | 2.9 | 1.2 | 2.4 | 2.1 |
| 設備投資 | 1.1 | 1.0 | 0.6 | 1.1 | 0.1 | 0.2 | 0.5 | 0.3 |
| 住宅投資 | -0.3 | -0.1 | 0.3 | 0.1 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.2 |
| 在庫投資 | -0.1 | -1.3 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | 0.0 | -0.6 |
| 政府支出 | -0.5 | 0.0 | 0.2 | 0.3 | -0.3 | 0.0 | 0.5 | 0.3 |
| 輸出 | 1.4 | -1.0 | 1.3 | 0.2 | 0.7 | -0.8 | 0.6 | 0.1 |
| 輸入 | -0.2 | -0.4 | -1.5 | 0.2 | -1.6 | -1.1 | -0.5 | -0.3 |

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

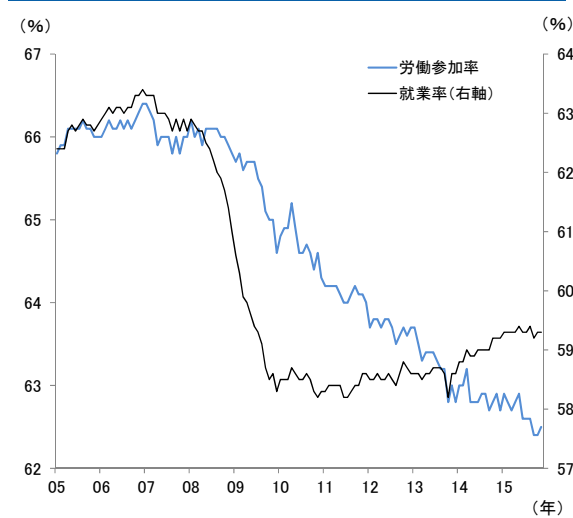
- ◆ 11月の失業率は5.0%となり、前月から横ばいとなった。失業者数は前月から増加したものの、就業者数が大幅に増加したことで失業率は横ばいに留まった。
- ◆ 非農業雇用者数の前月差は21.1万人増となった。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は21.3万人増であった。

非農業雇用者数と失業率



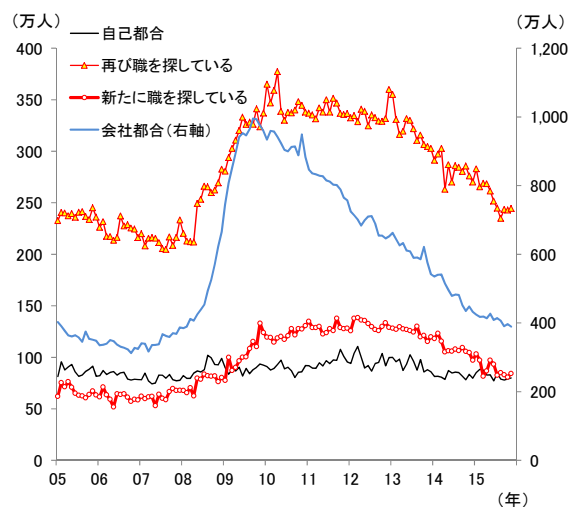
(出所)BLS,Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



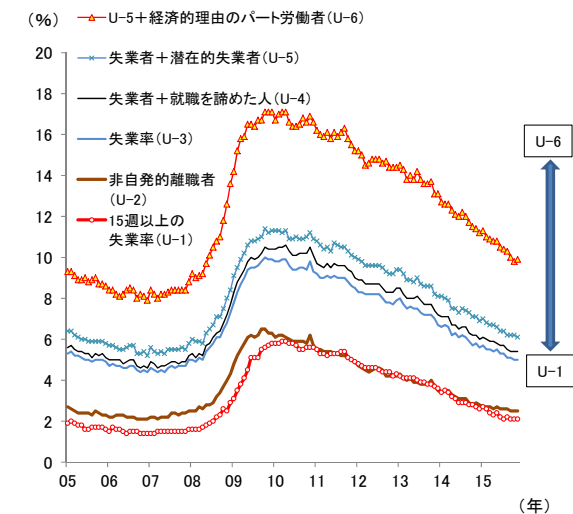
(出所)BLS,Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS,Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



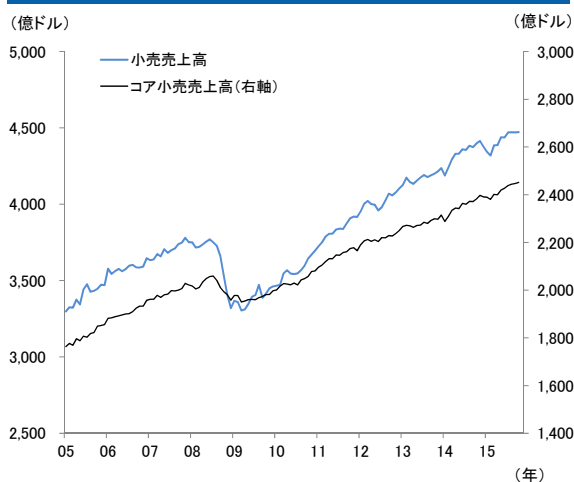
(出所)BLS,Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「利上げ開始に十分な労働市場の改善」(2015年12月7日)参照。http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20151207_010399.html

個人消費

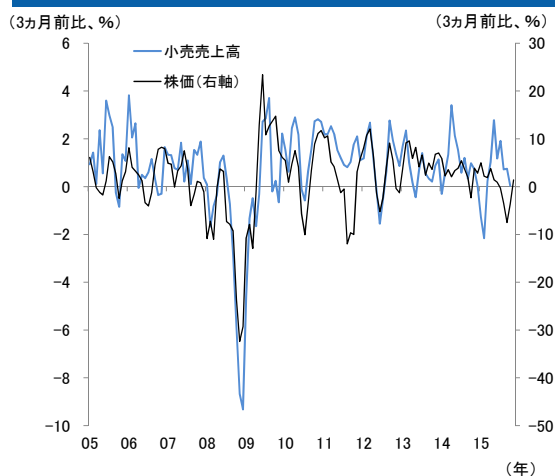
- ◆ 10月の小売売上高は前月比0.1%増加した。コア小売売上高は同0.2%増加し、6ヵ月連続の増加となった。
- ◆ 11月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の90.0から91.3に上昇した。現況指数、期待指数の双方が改善し、2ヵ月連続の上昇となった。
- ◆ 11月の自動車販売台数は前月比0.3%減少し、年率換算で1,819万台であった。乗用車の減少により、5ヵ月ぶりに減少した。

小売売上高の推移



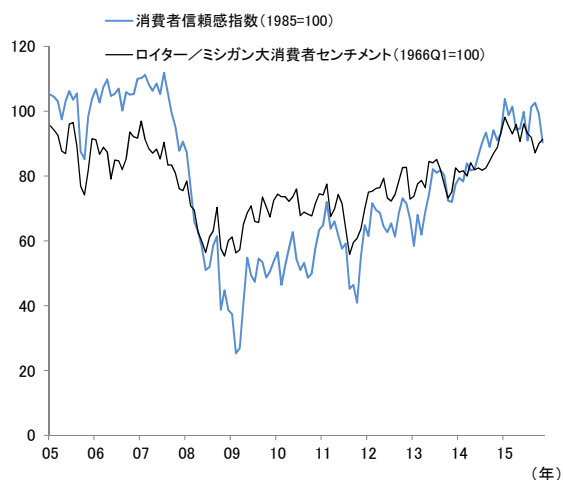
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、
建材・園芸、飲食サービスを除く。
(出所)Census,Haver Analyticsより大和総研作成

消費と株価



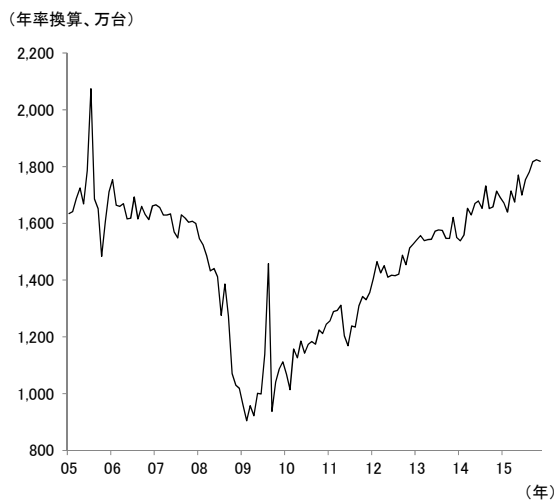
(注)株価はWilshire5000。
(出所)Census,Dow Jones,Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大,Conference Board,Haver Analyticsより
大和総研作成

自動車販売台数



(出所)Autodata,Haver Analyticsより大和総研作成

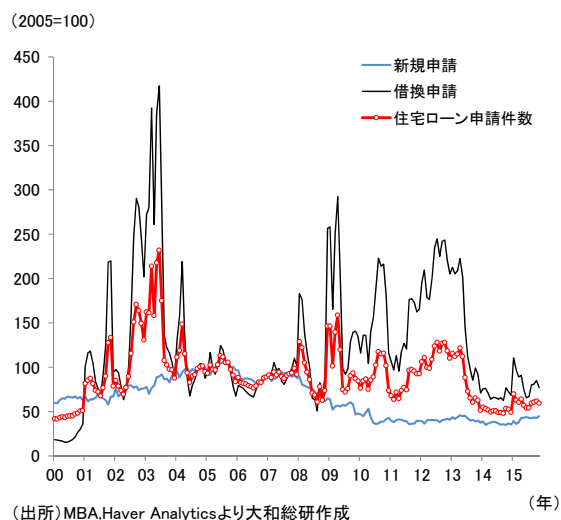
住宅市場

- ◆ 10月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比11.0%減の年率換算106.0万戸であった。集合住宅の大幅な減少を主因に2ヵ月ぶりの減少となった。
- ◆ 10月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比3.7%減と2ヵ月ぶりに減少し、年率換算475.0万戸となった。
- ◆ 10月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比10.7%増と大幅に増加し、年率換算49.5万戸であった。
- ◆ 9月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月比0.6%上昇した。

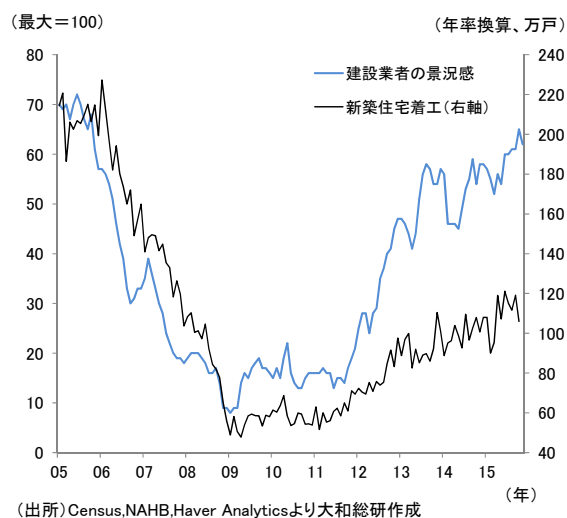
住宅販売（一戸建て）



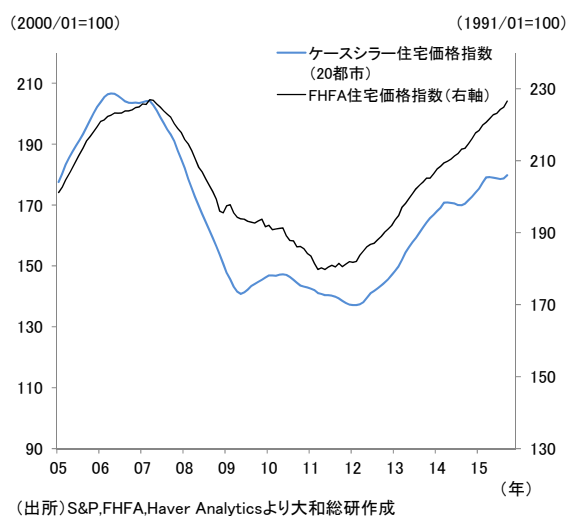
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



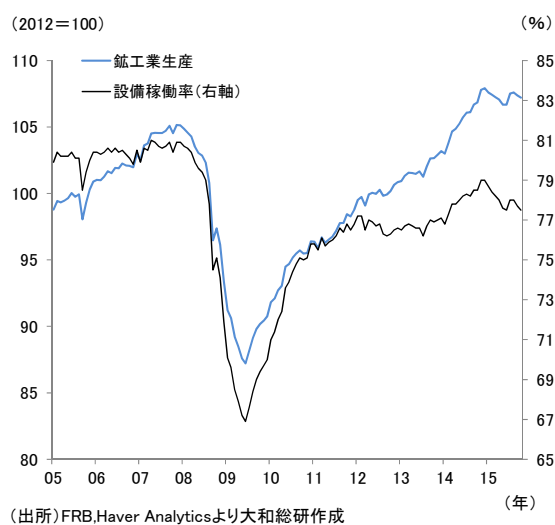
住宅価格



企業動向

- ◆ 10月の鉱工業生産指数は前月比0.2%低下し、2ヵ月連続の低下となった。指数全体の約7割を占める製造業は同0.4%上昇した。
- ◆ 10月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比1.3%増で、2ヵ月連続で増加した。
- ◆ 11月のISM製造業指数は、前月差1.5%ポイント低下の48.6%であった。5ヵ月連続で低下し、2012年11月以来、基準となる50%を下回った。非製造業指数は、前月から3.2%ポイント低下し、55.9%であった。

鉱工業生産と設備稼働率



企業の景況感



製造業の出荷・在庫



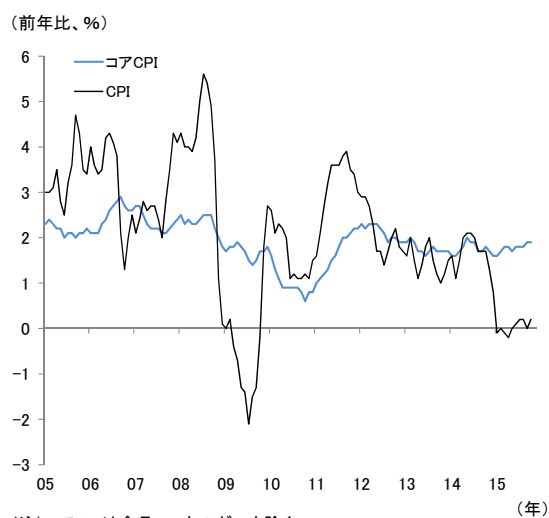
耐久財受注



物価動向

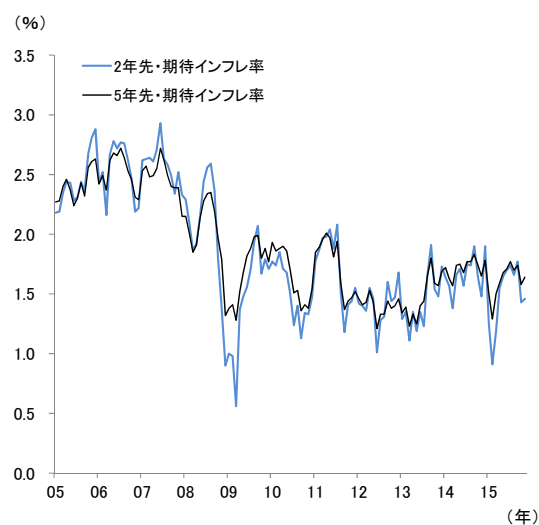
- ◆ 10月のCPI（消費者物価指数）は前年比0.2%上昇した。コアCPIは同1.9%上昇し、前月と同じ上昇率となった。
- ◆ 11月の2年先期待インフレ率は1.46%、5年先期待インフレ率は1.64%であり、いずれも前月から上昇した。
- ◆ 11月末のWTI原油先物価格は41.65ドル/バレルと、10月末の46.59ドル/バレルから低下した。

消費者物価指数



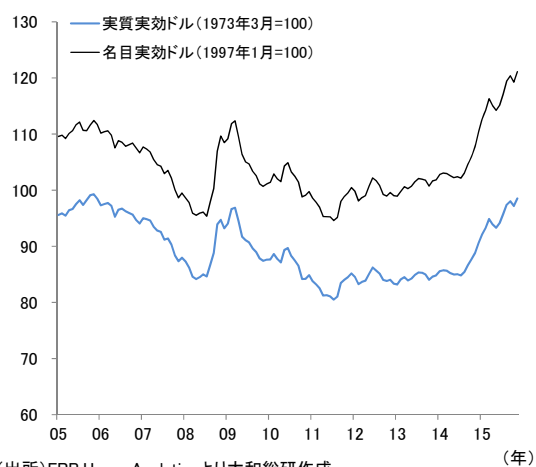
(注)コアCPIは食品、エネルギーを除く。
(出所)BLS,Haver Analyticsより大和総研作成

期待インフレ率



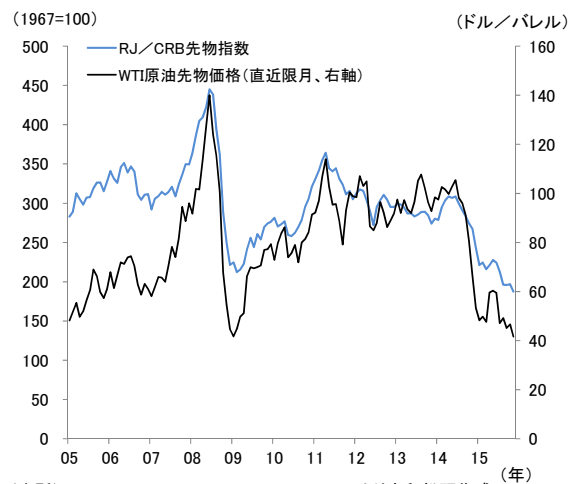
(出所)Cleveland Fed,Haver Analyticsより大和総研作成

実効為替レート(ブロード)



(出所)FRB,Haver Analyticsより大和総研作成

コモディティ価格

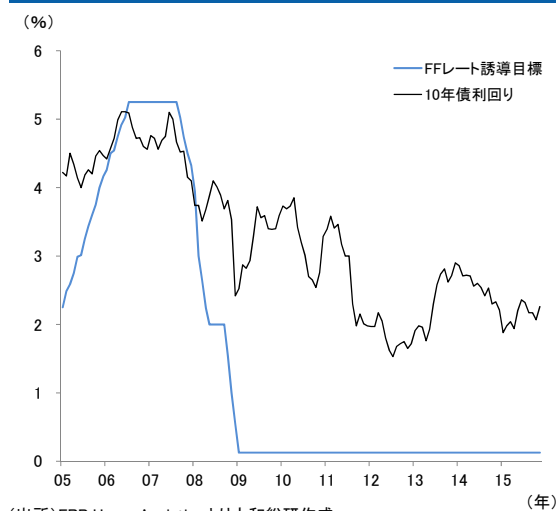


(出所)Wall Street Journal,CRB,Haver Analyticsより大和総研作成

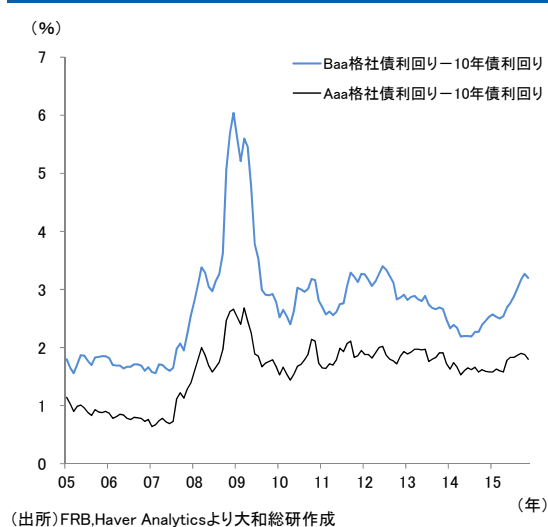
金融・財政

- ◆ 11月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.26%となった。堅調な経済指標を受けて、利上げ観測が高まったことにより前月から上昇した。
- ◆ 10月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、事実上のゼロ金利政策の据え置きと、保有する資産規模の維持が決定された。FRBの資産残高は、直近の12月2日の週平均が約4兆5,200億ドルであった。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、トレンドとして赤字幅が縮小している。

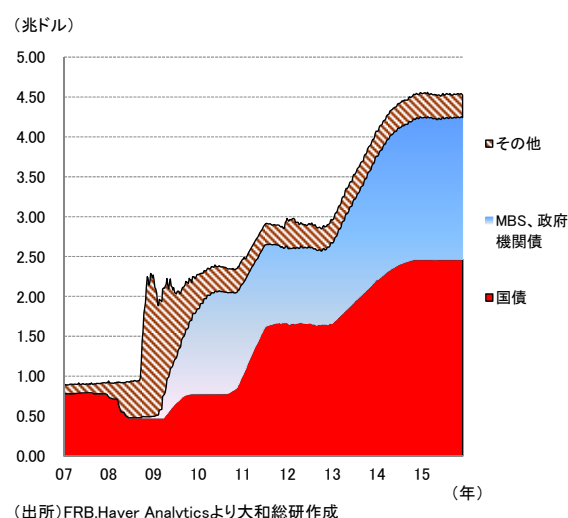
政策金利・長期金利



クレジットスプレッド



FRBの資産構成



連邦政府の財政収支

